

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 専任講師

氏名： 山下 博之

研究課題		東日本大震災の被災自治体における受援の終了に関する研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	本研究では、災害で被災した地方自治体が行政機能を維持し、また行政機能が停止した場合にこれを回復する能力を「災害レジリエンス」と呼ぶ。2016年度は東日本大震災における地方自治体の「災害レジリエンス」に関する研究を実施した。2017年度は、自治体の「災害レジリエンス」を強化する施策の中でも、自治体間の応援職員の受け入れ（「受援」）に着目し、その終了に関する研究を実施する。 東日本大震災で、特に津波で被災した自治体には、全国の自治体から職員が派遣され、業務支援を受けている自治体が少なくない。こうした人的支援がなければ、被災地の復興が成り立たないという声も聞かれ、それだけ被災自治体が応援職員に依存しているとみることができる。ではこうした自治体が復興事業を終え、平常時に戻るとき、どのような問題が起こり得るのか。本研究では、この問題を検討していく。
	研究成果	(1) 主な実施事項と成果 岩手県庁復興局および陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町の復興担当部局に対し、東日本大震災における法定上の復興期間の終了が近づく中で、復興や受援に関連して直面している問題等についてヒアリング調査を実施した。この調査により、東日本大震災の復興に関連して各自治体が現在直面している問題について確認された。 (2) 課題 当初、2017年8月に予定していたヒアリング調査が、山下の参加する共同研究プロジェクト(理事長特別研究)やその関連の学会発表の準備等のため、2019年2月にずれ込んだ。このため、ヒアリング調査で得られた貴重な情報が、学会発表や論文等に反映できていない。これらの情報は翌年度の学会発表と論文の中でいかしたい。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文タイトル・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表タイトル・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・タイトル・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	【講演会・セミナー・研修会】 ① 山下 博之「首都直下地震発生時の危機管理」日本大学病院『第1回 日本大学病院災害対策本部運用講習会』(2017年7月27日) ② 山下 博之「地方自治体における受援の実態」新潟県防災局防災企画課『災害時における円滑な広域応援体制構築のための協議会 第1回 専門部会』(2017年8月4日) ③ 山下 博之「地方自治体と関係機関との連携に関わる課題」防衛省 陸上自衛隊幹部学校 技術高級課程(TAC) 災害派遣講話(2017年10月2日)